

テニス合宿2012の一コマ

好天に恵まれた2012年度の千歳テニスクラブの合宿は、会報で催しを案内したのが功を奏したのか、50名の方々の参加で盛大に開かれました。参加された皆さんお疲れ様でした。

コンペ参加者らが早朝から汗を・・・間違いアルコールを流す。昼のバーベキューを目当てに続々と集合しはじめる。肉も野菜も麺もお腹に収まったところで、堤先生に花束を、喜寿のお祝いだ。家族もやってくれないのに・・・と感謝の言葉。

幹事のT君(45期)は入れ替わり立ち替わりやってくる参加者の確認で大忙し。食べている暇なし、飲んでいる暇なし。陰の声「減量する機会は合宿しかない(笑)」。

さて、問題の夕食、貸し切りだから良かったものの、ほかの泊まり客がいたら何と思うか。どういうことかはご想像にお任せします、想像と大差はありません。

堤先生の千歳高校赴任50周年を祝う前に、長年に亘って教壇とコートで指導されてこられた臺先生のご冥福を願い黙禱を捧げる。臺先生もこの場に同席されておられたら良かったと思った方も大勢いたことと・・・。

やおら瀧川会長が立ち上がる。U君(25期)とU君(28期)に書かせた長文をしたためた巻き紙を取り出す。ここでは詳しく紹介できないが、要は堤先生の悪しきことを何箇所も読み上げる。ついで歯の浮くような褒め言葉がつづく。本人はウンウンと頷いて・・・思い当たることばかりだったのだろう。50年をタイムスリップしているようだ。

名文、名調子だった内容を知りたければ先生の手元にあるはずなので折りをみて読ませてもらったかどうか。宿の女将さんも身を乗り出して涙を流しながら聞き込んでいた。

最後に奥さんの手をわずらわすことのないように、「京都名店のお節」をプレゼント。正月に堤宅訪問は厳禁付。先生の謝辞の内容は残念ながら忘れしました。これからは録音をとろう。

蛇足、M君(31期)が60周年パーティーで「先生に仲人を頼もうかな」なんて血迷って(?)いたが、合宿に参加した彼女を先生に紹介。さてその後の展開は如何に。

記 M(20期)